

第 1 2 3 回 (令和2年12月) 情報処理技能検定試験(表計算) 4 級問題

<問 題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は20分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

社員名	出張日数	販売数
秋山 哲夫	8	1,326
南 めぐみ	10	1,591
小野田 誠	11	1,809
川口 洋子	13	2,180
中村 信二	11	2,017
横井 由香	7	1,375
佐久間 明	12	2,103
矢島 清美	6	1,092

<処理条件>

- <出力形式>のような出張諸手当一覧表を作成しなさい。（ —— の部分は空白とする）
- 出張手当 $=3,800 \times$ 出張日数
販売手当 $=53 \times$ （販売数 -500 ）
支給総額=出張手当+販売手当
- 合計・平均（整数未満四捨五入の表示）を求めなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）

<出力形式>

出張諸手当一覧表

社員名	出張日数	販売数	出張手当	販売手当	支給総額
合 計	——				
平 均	——				

第 1 2 3 回 (令和2年12月) 情報処理技能検定試験(表計算) 3 級問題

<問 題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

番号	会員名	車名	時間	基本料金
1	大木 雅子	A	10	5,200
2	青島 二郎	B	12	6,500
3	南 かおり	C	6	7,700
4	大久保 正	D	11	6,100
5	中井 和美	E	13	5,300
6	佐藤 雄三	F	14	7,500
7	山田 マミ	G	8	7,400
8	鈴木 英樹	H	7	6,800
9	関 明日香	I	9	5,600

<割引率表>

時間	割引率
10 以上	10.2%
それ以外	5.4%

<処理条件>

- <出力形式1>のような請求額一覧表を作成しなさい。（—— の部分は空白とする）
- 超過料金＝基本料金×0.2×(時間－6)
- 割引率は<割引率表>を参照し、求めなさい。（%の小数第1位までの表示とする）
割引額＝基本料金×割引率（整数未満切り捨て）
請求額＝基本料金＋超過料金－割引額
- 合計を求めなさい。
- 構成比率＝請求額÷請求額の合計（%の小数第1位未満四捨五入の表示）
- 基本料金の少ない順に並べ替えなさい。
- <出力形式2>のような処理をしなさい。（平均は整数未満四捨五入の表示とする）
- 罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）

<出力形式1>

請 求 額 一 覧 表

番号	会員名	車名	時間	基本料金	超過料金	割引率	割引額	請求額	構成比率

(途 中 省 略)

——	合 計	——				——			——

<出力形式2>

基本料金の平均	
割引額の平均	
請求額の最大	

第 1 2 3 回 (令和 2 年 1 2 月) 情報処理技能検定試験(表計算) 準 2 級問題

<問 題>

1. 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
2. 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
3. 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

CO	社員名	等級	実働時間	出来高
101	山本 絵美	3	155	2,379
102	近藤 陽一	4	158	2,562
103	森 なつみ	1	143	2,167
104	久保田 勇	3	148	2,453
105	大石 英子	2	151	2,305
106	三田 和男	1	138	2,104
107	中川 由香	4	153	2,208
108	小林 二郎	2	142	2,082

<時給テーブル>

等級	時給
1	1,378
2	1,249
3	1,153
4	1,097

<評価表>

実働時間	総支給額	評価
155 以上	または 21 万以上	A
それ以外		B

<処理条件>

1. <出力形式1>のような社員別賃金一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
2. 時給は<時給テーブル>を表検索しなさい。
3. 基本賃金=時給×実働時間
出来高手当=45.7×(出来高-2,000)(整数未満切り上げ)
特別手当=(基本賃金+出来高手当)×3.7%(整数未満切り捨て)
総支給額=基本賃金+出来高手当+特別手当
4. 評価は<評価表>を参照し、求めなさい。
5. 合計を求めなさい。
6. 基本賃金の多い順に並べ替えなさい。
7. 社員別賃金一覧表の時給のセル証明をしなさい。
8. <出力形式2>のような処理をしなさい。すべて¥表示とする。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
9. 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
10. 社員別賃金一覧表の総支給額の値を社員名別の縦棒グラフにしなさい。
タイトルは“社員別の総支給額”とし、凡例は“総支給額”とする。

<出力形式1>

社 員 別 賃 金 一 覧 表

CO	社員名	等級	時給	実働時間	基本賃金	出来高	出来高手当	特別手当	総支給額	評価
(途 中 省 略)										
——	合 計	——	——							——

<出力形式2>

	基本賃金	出来高手当	総支給額
平 均			
最 大			
最 小			

第 1 2 3 回 (令和 2 年 1 2 月) 情報処理技能検定試験(表計算) 2 級問題

<問 題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3 桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- 試験時間は 3 0 分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

依 C O	依頼先名	製 C O	依頼数	完成数
101	安藤部品	12	3,139	3,076
102	MR K 精工	11	2,638	2,590
103	木村工業	14	3,298	3,187
104	みなみ電機	12	3,275	3,144
105	杉山製作	13	2,173	2,068
106	久保田機械	11	2,410	2,368
107	川島精密	13	2,052	1,945
108	マルニ産業	14	2,635	2,473

<製品テーブル>

製 C O	製品名	加工単価
11	E 製品	197
12	F 製品	218
13	G 製品	184
14	H 製品	236

<運送費表>

加工賃	運送費
65 万以上	70,000
50 万以上 65 万未満	50,000
1 以上 50 万未満	30,000

<評価表>

完成指数	支払額	評価
97 以上	または 75 万以上	＊＊
それ以外		＊

<処理条件>

- <出力形式 1>のような加工賃計算表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
- 製品名・加工単価は<製品テーブル>を表検索しなさい。
- 完成指数＝完成数÷依頼数×100 (整数未満切り捨て)
加工賃＝加工単価×完成数
- 合計を求めなさい。
- <出力形式 2>のような依頼先別支払額一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
- 完成指数・加工賃は加工賃計算表を表検索しなさい。
- 奨励金＝加工賃×3.7% (整数未満切り捨て)
- 運送費は<運送費表>を参照し、求めなさい。
支払額＝加工賃＋奨励金＋運送費
- 評価は<評価表>を参照し、求めなさい。
- 合計を求めなさい。
- 支払額の昇順に並べ替えなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- 依頼先別支払額一覧表の完成指数と評価のセル証明をしなさい。
- 依頼先別支払額一覧表の支払額の値を依頼先名別の円グラフにしなさい。
タイトルは“支払額の構成比”、凡例は依頼先名とし、%の小数第 1 位までの表示とする。

<出力形式 1>

加 工 賃 計 算 表

依 C O	依頼先名	製 C O	製品名	加工単価	依頼数	完成数	完成指数	加工賃
(途 中 省 略)								
—	合 計	—	—	—			—	

<出力形式 2>

依 頼 先 別 支 払 額 一 覧 表

依 C O	依頼先名	完成指数	加工賃	奨励金	運送費	支払額	評価
(途 中 省 略)							
—	合 計	—					—

商品名	販売数	請求金額
商品J		
商品K		
商品L		
商品M		

第 1 2 3 回 (令和2年12月) 情報処理技能検定試験(表計算) 1 級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

得CO	商CO	売上数
11X	101	478
11X	102	887
11X	103	563
11X	104	866
12Z	101	500
12Z	102	282
12Z	103	476
12Z	104	807
13Y	101	522
13Y	102	799
13Y	103	441
13Y	104	815
14X	101	793
14X	102	372
14X	103	747
14X	104	907

<得意先テーブル>

得CO	得意先名
11X	雑貨西川
12Z	K E C A
13Y	流通革命
14X	東洋通販

<商品テーブル>

商CO	商品名	原価
101	商品A	2,270
102	商品B	2,380
103	商品C	1,670
104	商品D	2,020

<割引率テーブル>

ランク	割引率
X	5.8%
Y	6.2%
Z	8.0%

※ランクは得COの
右から1文字目と
する。

<判定表>

売上数	売上額	判定
400 以上	かつ 160 万以上	***
400 以上	かつ 100 万以上 160 万未満	**
それ以外		*

<処理条件>

- <出力形式1>のような請求額一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
- 得意先名、商品名はそれぞれ<得意先テーブル>、<商品テーブル>を表検索しなさい。
- 定価＝原価×1.26 (10 位未満四捨五入) ※原価は<商品テーブル>を参照する。
- 売上額＝定価×売上数
- 割引率は<割引率テーブル>を参照し、求めなさい。(% の小数第 1 位までの表示とする)
割引額＝売上額×割引率 (100 位未満切り上げ)
請求額＝売上額－割引額
- 判定は<判定表>を参照し、求めなさい。
- 合計を求めなさい。
- <出力形式1>と同じ形式で、流通革命以外で売上数が 500 以下を抽出しなさい。
表題は“請求額一覧表 (流通革命以外・売上数 500 以下)”とし、売上数の昇順にソートしなさい。
- 請求額一覧表を基に<出力形式2>のような処理をしなさい。
- 請求額一覧表を基に<出力形式3>のような処理をしなさい。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- <出力形式2>の売上額・請求額を商品名別の横棒グラフにしなさい。
タイトルは“商品別の比較”とし、凡例は“売上額”、“請求額”とする。

<出力形式1>

請 求 額 一 覧 表

得CO	得意先名	商CO	商品名	定価	売上数	売上額	割引率	割引額	請求額	判定
(途 中 省 略)										
——	合 計	——	——	——			——			——

<出力形式2>

商品別集計表

商品名	売上数	売上額	請求額
商品A			
商品B			
商品C			
商品D			

<出力形式3>

売上数が 500 より多く割引額が 10 万円以下の件数	
商品C以外で売上数が 300 以上の請求額の平均	
請求額が 150 万円未満の売上額の最大	

第 1 2 3 回 (令和 2 年 1 2 月) 情報処理技能検定試験(表計算) 初段問題

<問題>

1. 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
2. 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
3. データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
4. 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

貸出日	駐CO	車CO	出発	帰着	走行距離
11/16	10	303	9:00	15:00	43
11/16	20	201	8:00	13:30	83
11/16	30	302	10:15	18:45	81
11/16	40	101	11:45	19:45	50
11/17	10	203	8:15	15:30	39
11/17	20	101	11:45	19:00	87
11/17	30	101	10:15	18:30	120
11/17	40	103	9:30	10:45	8
11/20	10	303	8:00	16:00	45
11/20	20	103	10:00	20:30	28
11/20	30	102	9:00	16:45	13
11/20	40	101	9:45	17:15	70
11/23	10	102	11:30	17:00	20
11/23	20	302	9:30	16:45	82
11/23	30	101	8:15	16:00	43
11/23	40	202	11:30	17:30	14

※貸出日はすべて今年とする。

<駐車場テーブル>

駐CO	駐車場名
10	長井駅西口
20	県立大学前
30	港ビル前
40	公園通り

<距離単価・割引率表>

区分	区分名	距離単価	割引率	
			時間	
			1~6	7~
1	A	16	2%	3%
2	B	18	4%	5%
3	C	20	6%	7%

※区分は車COの1の位とする。

<クラス表>

車CO	クラス	6Hパック	12Hパック
100番台	ベーシック	4,020	5,700
200番台	ミドル	4,400	6,700
300番台	プレミアム	7,600	9,090

<距離料金の計算式>

時間	距離料金
6以下	0
それ以外	距離単価×走行距離

※距離単価は<距離単価・割引率表>を参照する。

<処理条件>

1. <出力形式1>のようなカーシェア料金計算表を作成しなさい。(――の部分空白とする)
※貸出日・出発・帰着の表示は<入力データ>のとおりとする。
2. 駐車場名は<駐車場テーブル>を表検索しなさい。
3. プラン名は、クラス・区分名の順に関数または演算子を使用して結合しなさい。ただし、クラスの次に“―”を記入すること。(例 プレミアム―C) ※クラスは<クラス表>、区分名は<距離単価・割引率表>を参照する。
4. 時間=(帰着―出発)×24(整数未満切り上げ)
5. 基本料金は時間が6以下の場合は6Hパック、それ以外は12Hパックとし、<クラス表>を参照し、求めなさい。
6. 距離料金は<距離料金の計算式>を参照し、求めなさい。
割引額=基本料金×割引率(整数未満切り捨て) ※割引率は<距離単価・割引率表>を参照する。
請求額=基本料金+距離料金―割引額
7. 合計を求めなさい。
8. <出力形式1>と同じ形式で、貸出日が11/17または請求額が10,000以上を抽出しなさい。
表題は“カーシェア料金計算表(11/17または請求額1万円以上)”とし、車COの昇順で請求額の降順に並べ替えなさい。
9. カーシェア料金計算表を基に<出力形式2>のような駐車場別総括表を作成しなさい。
10. 駐車場名は<駐車場テーブル>を表検索し、基本料金・距離料金・請求額は、基の表を集計する。
11. 構成比率=請求額÷請求額の合計(%の小数第1位未満四捨五入の表示)
12. 距離料金の降順に並べ替えなさい。
13. カーシェア料金計算表を基に<出力形式3>のような処理をしなさい。
14. 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
15. <出力形式2>の駐車場名別の基本料金を縦棒、距離料金を折れ線にした複合グラフにしなさい。
タイトルは“駐車場別の集計グラフ”とし、凡例は“基本料金”、“距離料金”とする。

<出力形式1>

カーシェア料金計算表

貸出日	駐CO	駐車場名	車CO	プラン名	出発	帰着	走行距離	時間	基本料金	距離料金	割引額	請求額
(途中省略)												
――	――	合 計	――	――	――	――						

<出力形式2>

駐車場別総括表

駐CO	駐車場名	基本料金	距離料金	請求額	構成比率
(途中省略)					

<出力形式3>

クラス別集計表

	ベーシック	ミドル	プレミアム
基本料金			
距離料金			
請求額			